

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年01月27日

計画の名称	(第3期)地震・津波等災害に備えた減災まちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度 ～ 令和08年度（4年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	佐伯市													
計画の目標	佐伯市は、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されており、今後30年以内に70%から80%で発生するとされている南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.1）では、市内で最大震度6強、最大津波高は13.5mと想定されている。この南海トラフ巨大地震への対応を喫緊の課題として捉え、最終的には、大分県地震津波被害想定調査結果（25年3月）で示された「減災対策による軽減効果（市内における死者数約8千5百人を1桁の人数に抑制）」の実現を目標に、避難施設等の整備と併せ早期避難行動の徹底を図る。あわせて、同地震発生時には、最大で2万9千人の住民が避難生活を送ると想定されていることから、迅速な避難者支援を行うための体制構築を目指す。 第1期（H26～H30）・第2期（H31～R2）では、被害を最小限に抑えるために避難地、避難タワー・高台や備蓄倉庫等のハード整備を行った。 第3期では、大規模災害からの復興手順や目標等をあらかじめ定める「事前復興計画」「事前復興まちづくり計画」を策定することにより、復興期間の短縮および復興の質の向上につなげるとともに、復興事前準備として実施するハード対策およびソフト対策を明確化し、被害の軽減を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		38	A	38	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度当初		令和8年度末
1	事前復興計画の公表			
	作成した事前復興計画(ビジョン編・プロセス編)の公表	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	佐伯市	直接	佐伯市	－	－	事前復興計画策定事業	事前復興計画の策定	佐伯市	■	■	■	■		38		－
											小計						38		
											合計						38		